

## 地域に学ぶ中学生体験活動週間～トライやる・ウィーク～【兵庫県】

兵庫県では、平成10年度から、保護者や地域の人々の協力のもと、県下の公立中学校の2年生全員を対象に、学校教育の一環として、それぞれの地域で、指導ボランティアとともに連続した1週間にわたる体験活動が行われています。

時間的にも空間的にも「ゆとり」ある1週間にわたる子どもたちのこの「自分探しの旅」のなかで、[生きる力]の育成はもとより、学校・家庭・地域のそれぞれが、新たな「出会い」や「発見」を通じて、地域の子どもは地域で育てる体制づくりが進められています。

平成10年度は、およそ2万3,000人の指導ボランティアの協力を得て、340校、約5万6,000千人の生徒が、1万6,000もの場所で様々な体験活動を行いました。

### 【体験活動例】

地域や学校の実態に応じて創意工夫を図りながら、それぞれの生徒が自分の興味・関心を基に、自ら「トライ」したいことを考え、学校・家庭・地域が協力してその活動を支援しています。

#### 温泉旅館での活動

土産物の販売やお客様の出迎え・見送り・案内、客室の整理整頓、朝食・昼食の下膳

#### 老人ホームでの活動

レクリエーション介助や外出介助、フローア―清掃、ベットメイク、入浴時誘導、洗身、昼食時の配膳・配茶・下膳  
保育所での活動

自由あそびや体操、散歩、給食、昼寝、おやつ時の保育補助

#### 牧場公園での活動

花壇の整理や動物舎の糞ふんの回収とおが屑の交換、子牛のブラッシング、羊の移動、草刈り、公園内のゴミ拾い

#### スーパーマーケットでの活動

レジ打ちや商品の整理、値札の取付け、清掃

《 「トライやる・ウィーク」で得たもの 》

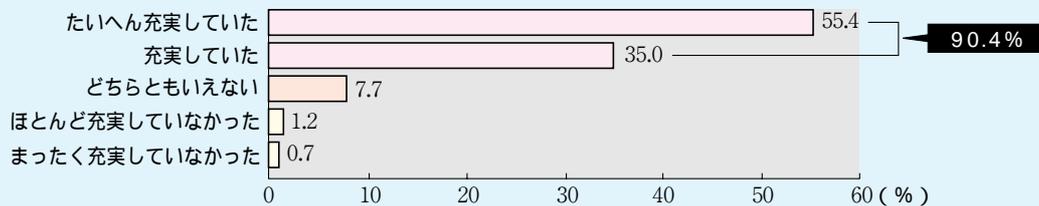
生徒の感想から ~自分に気付く・支えてくれている人に気付く

- ・私は、夢というのはなかったけれど、将来やってみたいことができました。
- ・「がんばってよ」の一言が、こんなにうれしいものとは思わなかった。
- ・自分自身の心のゆとりを持たれたと思います。
- ・自分の親やまわりの大人の人たちがとてもがんばって働いているということに感心しました。
- ・時々、町で出会うと大きな声で名前を呼び、手を振ってくれます。そういう時、とてもうれしくなります。

指導ボランティアや地域の人たちとの触れ合いができましたか？



あなたにとって、この1週間はどんな1週間でしたか？

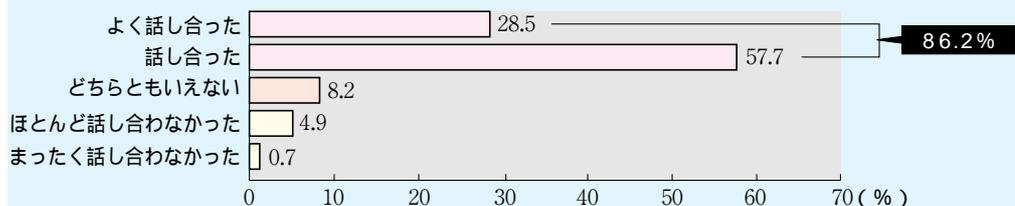


家庭の感想から

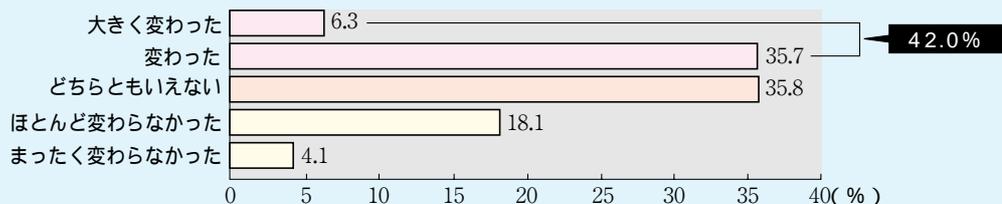
~子どもとのかかわりに気付く・地域とのかかわりに気付く

- ・この期間中は非常に生き生きとし、会話もはずみ、時間的にもゆとりがあったので精神的にもリラックスしていたと思います。普段の生活でもゆとりを大切にしていきたいと思いました。
- ・今の子どもたちは勉強以外の何かを体験したいのですね。本当の勉強とは何かを教えられる1週間でした。
- ・仕事をすることも大切ですが、そのことについて家族でいろいろ話ができるということがもっと大切なことだと気付きました。
- ・親自身が地域社会とかかわることで、地域社会を見直すことができました。

期間中にあなたのお子さんと、この活動について話し合われましたか？



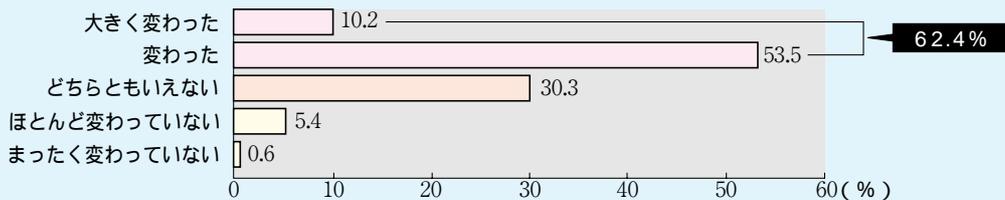
あなたは、この活動を通して、子どもに対する見方が変わりましたか？



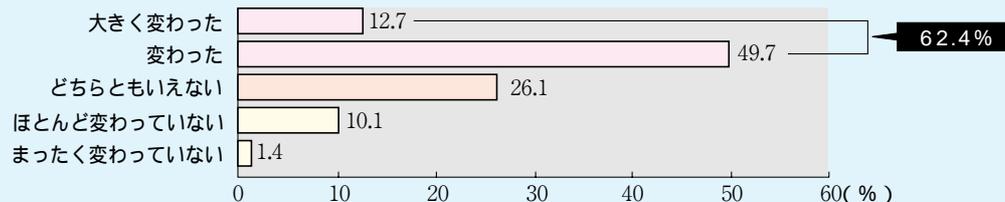
地域の感想から ~ 中学生に気付く・職場や地域の新たな役割に気付く

- ・この機会にいろいろと中学生のことを知ることができました。
- ・人に何かを教えるためには、自分がしっかり理解していなければなりません。私たち受け入れる側にとってもたいへん勉強させていただいた1週間でした。
- ・中学生に対して何らかの関心を持つ良いきっかけになったのではないかと思います。

この1週間で、生徒たちに変化が見られましたか？



この1週間を通して、中学生に対する見方が変わりましたか？

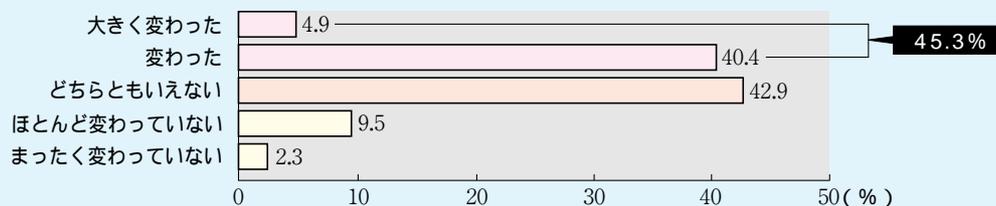


学校（教師）の感想から

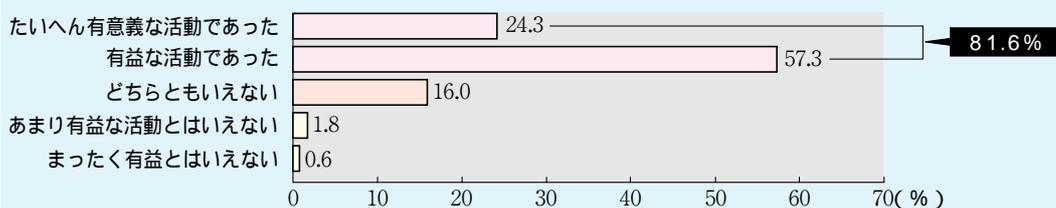
~生徒の新たな面に気付く・教育改革としての視点に気付く

- ・生徒に対して，より多面的な見方ができるようになりました。
- ・指導ボランティアの多様な技術，献身的な態度等を見て，何か学び取ることができると思いました。
- ・これまで外部との接触が少なかったが，多くの地域の方と知り合え，連携が深まりました。
- ・地域，保護者の方々から今までにない学校に対する理解が得られ，また，中学生の地域での様子に関心を持っていただきました。
- ・地域の教育力の大きさを痛感しました。

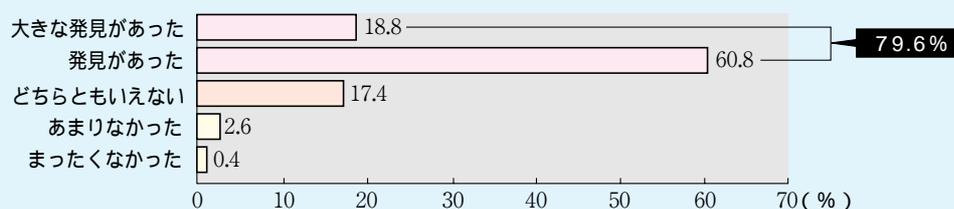
この1週間で，生徒たちに変化が見られましたか？



「トライやる・ウィーク」が学校と地域社会との関係にとってどのような活動でしたか？



この1週間の活動を通して，これまでの学校生活では見られなかった生徒の新たな側面などの発見がありましたか？



「トライやる・ウィーク」がこれからの教育活動を考える契機となりましたか？

